

日本鉄鋼協会記事

春 季 大 会

本年の春季大会は、4月3日から6日までの4日間、恒例により東京において開催された。第47回通常総会第63講演大会、表彰記念特別講演会、鉄鋼技術共同研究会部会報告講演会、懇親会、展示会、見学会など一連の諸行事が引続いて行なわれた。これらの行事にはいずれも全国各地から多数会員が参加され、甚だ盛会の裡に滞りなく終了した。つぎにその概要を記述する。

第47回通常総会 4月3日午後1時から東京大学工学部第2号館大講堂において開催された。依理事司会の下に開会が宣せられ、初めに浅田会長から開会の挨拶が述べられたが、その中で特に協会の拡大強化方針について力説された。ついで議事に入り、まず理事、監事および評議員の選挙が行なわれ、続いて昭和36年度事業報告、収支決算および財産目録承認の件、ならびに昭和37年度事業計画案および収支予算案を一括議題に付して審議に入り、桂理事より事業について、秋田理事より会計についてそれぞれ詳細の説明があり、また横山監事より監査報告があつて、採決の結果何れも満場一致をもつて承認可決された。続いて内山、前田両選挙管理委員から理事、監事および評議員選挙の結果が報告された。その後総会は一旦休憩となつたが、その間別室において臨時理事会を開き、会長の互選を行なつたが、三島徳七新理事が任期満了の浅田会長に代つて新会長に選任された。よつて総会を再開、浅田会長より退任の挨拶、三島新会長より就任の挨拶があつて、総会の議事を終つた。

引続き表彰式が行なわれ、浅田会長より下記受賞者諸氏にそれぞれ表彰状ならびに賞牌、賞金が授与され、午後2時滞りなく総会の幕を閉じた。

服 部 賞	武田 喜三君
香 村 賞	芹沢 正雄君
俵 賞	{ 岡嶋 和久君
	{ 井上 道雄君
	{ 佐野 幸吉君
渡 辺 三 郎 賞	前川 静弥君
渡 辺 義 介 賞	西山 弥太郎君
渡 辺 義 介 記 念 賞	池見 恒夫君
〃	{ 石田 勇君
〃	{ 上野 弁次郎君
〃	{ 門田 貫介君
〃	白井大八郎君
〃	小田 孫次君
〃	北村善次郎君
〃	児玉 惟孝君
〃	田阪 興君
〃	高見 鶴吉君
〃	成田 貴一君
〃	野田 郁也君
〃	萩原 信夫君
〃	不破 祐君
〃	藤田 利夫君



退任挨拶をされる浅田長平前会長



就任挨拶をされる三島徳七新会長

第63回講演大会 4月3日、4日、5日の3日間に亘り、東京大学において開催された。第1日は定刻午前8時50分参会者一同の参集した第1会場において最初に浅田会長から開会の辞が述べられたのち各会場において講演が開始された。このたびの大会には、研究発表講演が180という多数に上つたため、従来の5会場を6会場に増加し、工学部の講堂のみでなく法文学教室の一部をもこれにあてることにした。第1日の講演数48、第2日に47、第3日に85、会計180。聴講者もまた400名を超える多数で、講演ののち活潑な質疑応答が行なわれ、甚だ盛会であつた。



渡辺義介賞をうける西山弥太郎君

表彰記念特別講演会 4月3日午後2時30分から東京大学工学部第2号館大講堂で、第7回の表彰記念特別講演会が開催され、このたびの総会で表彰された下記諸氏からそれぞれ有益にして興味深き講演が行なわれた。当日は天候陰悪で膚寒く、一時激しい暴風雨を伴ったが、聴講者講堂に溢るほどの盛況であった。

純酸素転炉について

服部賞受賞者 武田 喜三君

製鉄技術の趨勢について

香村賞受賞者 芹沢 正雄君

製錬物理化学より見たる硫酸焼鈍

ラテライト等不完全利用資源の活用について

俵賞受賞者 佐野 幸吉君

製鋼の基礎的研究と実際作業

渡辺三郎賞受賞者 前川 静弥君

日本鉄鋼業の国際競争力について

渡辺義介賞受賞者 西山弥太郎君

鉄鋼技術共同研究会部会報告講演会 4月4日午前9時25分より、第3回鉄鋼技術共同研究会部会報告講演会を、工学部2号館大講堂で開催、講演題目および講演者はつぎの通りであった。

開会の挨拶

幹事長 山岡 武君

高炉送風の処理について 製鉄部会長 小野田武夫君

最近の厚板 鋼材部会厚板分科会主査 鍵山 正則君

鋼管製造技術の最近の進歩について

鋼材部会鋼管分科会主査 原田 芳君

懇親会 4月4日午後6時から日本金属学会と本会と合同の下に、神田錦町学士会館において会員懇親会を開催した。恒例により敬老の意を表するため、両会の長老諸先輩を迎え、また両会の表彰者諸氏を招待し、両会の役員ならびに会員の参会者併せて約200名の多数出席者があつて大いに盛会であった。初めに三島鉄鋼協会々長ならびに安田金属学会々長より挨拶が述べられ、ついで長老藤田俊三氏が両会の隆盛を祝して乾杯ののち祝宴に入り、互に交歓を重ね和気霽々の裡に午後7時半散会した。

当日来賓としてお招きした先輩各位はつぎの通りであ



懇親会場

つた。(順序不同)

金子泰輔氏(欠)、村上武次郎氏(欠)、松下長久氏(欠)、浅田長平氏(欠)、斎藤三三氏、松縄信太氏(欠)、真島正市氏(欠)、石原寅次郎氏(欠)、玉置正一氏(欠)、松田孜氏(欠)、小林子之輔氏(欠)、藤田俊三氏、斎藤省三氏(欠)、田所芳秋氏(欠)、田丸莞爾氏(欠)、庄司彦六氏(欠)、角野尚徳氏(欠)、室井嘉治馬氏(欠)、藤村哲之氏、山岡武氏、橋本芳雄氏。

展示会 日本金属学会との共催で、4月3日から5日でも東京大学工学部第1号館内で商品展示会が開かれた。両会関係会社よりの出品に係る多数の機械、計器、新製品などが所狭きばかりに展示、紹介され、参観者が引続いて入場、賑わいを呈した。

見学会 4月3日日本金属学会と合同で見学会を行つた。当日の見学者約570名、11班に分れて日立製作所日立工場ほか21箇所の工場、研究所などの見学を行なつた。(詳細は813ページ掲載の見学記参照)

第1班 (株)日立製作所日立工場

第2班 プリンズ自動車工業(株)荻窪工場
三井金属鉱業(株)中央研究所

第3班 日野自動車工業(株)日野工場
防衛庁技術研究本部第3研究所

第4班 日軽アルミ工業(株)東京工場
志村化工(株)ニッケル製錬工場

第5班 (株)吾孺製鋼所吾孺工場
東京電力(株)新東京火力発電所

第6班 科学技術庁金属材料技術研究所
日本麦酒(株)目黒工場、読売新聞社

第7班 日本放送協会技術研究所
オリンパス化学工業(株)本社工場

第8班 三井精機(株)東京工場、(株)新潟鉄工所蒲田工場

第9班 日本鋼管(株)鶴見製鉄所
昭和電線電纜(株)川崎工場

第10班 いすゞ自動車(株)川崎工場
日本鋼管(株)鶴見造船所

第11班 (株)荏原製作所川崎工場
八幡製鉄(株)東京研究所

支部長会議 日時: 4月4日(水). 12・00~14・30. 会場: 文京区赤門側学士会館分館, 出席者: 本部一三島会長, 俵副会長ほか6名. 支部一吉井(北海道), 三本木(東北), 橋浦(北陸), 佐藤(東海), 吉岡(関西), 湯川(九州)各支部長, 支部理事.

議事 I. 本部よりの報告. (特に三島会長から協会の強化実施について詳細の報告があつた) II. 各支部の事業運営状況報告. III 本部支部間の連絡について. IV. 本会の事業運営その他本会発展に関する意見. 議事を終つて懇談に入り, 意見の交換を行なつた.

第2回理事会 日時: 4月18日(水). 16・00 開会. 会場: 協会々議室. 出席者: 三島会長ほか 15 名.

報告事項: I. 編集委員会に関する件. II. 企画委員会に関する件. III. クリープ試験技術研究組合に関する件. IV. 春季大会に関する件. V. 鉄鋼金属両会連絡懇談会に関する件. VI. 第5回高温強度シンポジウムに関する件. VII. 大河内賞受賞者に関する件.

協議事項 I. 理事の職務分掌に関する件. II. 常務委員, 編集委員, 企画委員委嘱の件. III. 特別資金運営委員会委員委嘱の件. IV. 東海支部長改選の件. V. 定款改正案立案に関する件. VI. 俵博士記念事業に関する件. VII. 職員新規採用ならびに定年延長に関する件. VIII. 3月中収支決算の件. IX. 3月中入退会員の他会員異動の件. (追加) 五弓勇雄氏に海外鉄鋼事情調査委託の件.

第2回編集委員会 日時: 4月24日(火)17・00 開会. 場所: 協会々議室. 出席者: 松下理事ほか 15 名.

報告事項: I. 会誌第4号(3月号)完成および第5号(4月号), 第6号(5月号)の完成予定について. II. 第5号掲載原稿追加について.

協議事項: I. 第4号および第5号の講評. II. 寄稿論文の審査. III. 第7号掲載論文の選定. IV. 秋季大会におけるプログラムについて. V. ABORN 博士講演原稿について. VI. 鉄鋼技術共同研究会報告について. VII. 造船協会賞など受賞候補者推薦について. VIII. デミング賞などの受賞候補者推薦について. IX. 会誌交換について.

第2回企画委員会 日時: 4月23日(月). 17・00 開会. 場所: 協会々議室. 出席者: 伊木理事ほか 10 名.

協議事項: I. 俵国一博士記念事業について. II. 定款改正案立案について. III. 維持会員口数増加および新規加入勧誘について. IV. デミング賞受賞候補者推薦について.